



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 芝浦機械株式会社
 コード番号 6104 URL <https://www.shibaura-machine.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 坂元 繁友
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 青木 稔 TEL 03(3509)0444
 定時株主総会開催予定日 2021年6月21日 配当支払開始予定日 2021年5月31日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月21日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	92,635	△20.7	381	△89.2	872	△77.2	△2,898	—
2020年3月期	116,761	△0.5	3,529	△8.0	3,825	△31.4	7,338	79.9
(注) 包括利益	2021年3月期 43百万円 (△99.3%)		2020年3月期 5,784百万円 (66.4%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△120.05	—	△3.4	0.6	0.4
2020年3月期	304.06	—	8.6	2.5	3.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 728百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	134,296	82,152	61.2	3,402.36
2020年3月期	154,283	87,018	56.4	3,605.47

(参考) 自己資本 2021年3月期 82,152百万円 2020年3月期 87,018百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	192	△1,537	△4,956	42,417
2020年3月期	5,312	19,772	△1,964	48,011

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	42.50	—	42.50	85.00	2,051	28.0	2.4
2021年3月期	—	37.50	—	37.50	199.30	4,810	—	5.7
2022年3月期 (予想)	—	37.50	—	37.50	75.00		181.1	

(注) 1. 2020年3月期の第2四半期末および期末の配当金には、それぞれ記念配当5円00銭を含んでおります。
 2. 2020年6月1日に公表いたしました「剰余金の配当（特別配当）に関する決定事項のお知らせ」のとおり、2020年6月30日を基準日として総額2,999百万円（1株当たり124円30銭）の特別配当を実施しており、上表合計には特別配当124円30銭を含んでおります。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	52,000	22.9	800	—	300	—	0	—	—
通期	106,000	14.4	2,700	607.1	2,200	152.0	1,000	—	41.42

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	29,977,106株	2020年3月期	29,977,106株
2021年3月期	5,831,373株	2020年3月期	5,841,960株
2021年3月期	24,141,713株	2020年3月期	24,135,286株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	64,573	△27.9	△2,190	—	△851	—	△3,714	—
2020年3月期	89,534	4.6	129	—	1,911	△39.2	16,129	417.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△153.84	—
2020年3月期	668.30	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	109,491	67,391	61.5	2,791.04
2020年3月期	130,665	74,602	57.1	3,091.02

(参考) 自己資本 2021年3月期 67,391百万円 2020年3月期 74,602百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付3ページ「1. 経営成績等の概況(1) 経営成績に関する分析③次期の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 経営方針	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
(開示の省略)	18
5. その他	19
(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高	19

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

①当期の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前半は厳しい状況が続きましたが、後半は経済活動の再開が徐々に進み、回復が見られました。わが国経済も輸出や生産に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症再拡大や需要の急増を背景としたサプライチェーンの混乱等により、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが属する機械業界につきましても、当連結会計年度は国内外とも設備投資需要は低調に推移しましたが、中国や米国などを中心に特に後半で回復が進みました。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組んでおります。

当連結会計年度の受注高は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより設備投資へ慎重な動きが見られたことから886億1千9百万円（前連結会計年度比5.9%減）、売上高は926億3千5百万円（前連結会計年度比20.7%減）となりました。損益につきましては、営業利益は3億8千1百万円（前連結会計年度比89.2%減）、経常利益は8億7千2百万円（前連結会計年度比77.2%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は、繰延税金資産の取崩し等により、28億9千8百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益73億3千8百万円）となりました。

なお、当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「4. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」の「[セグメント情報] 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

②セグメント別の概況

成形機事業 [射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など]

射出成形機におきましては、販売は北米、中国で増加したものの、国内、東南アジアが減少いたしました。受注は北米、中国、インドで顕著な回復が見られ、増加いたしました。

ダイカストマシンにおきましては、国内外とも設備投資需要が軟調に推移したため、販売と受注が減少いたしました。

押出成形機におきましては、販売は減少したものの、国内の環境に配慮した新素材用シート・フィルム製造装置が増加いたしました。受注は中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置および光学用シート・フィルム製造装置が増加いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は637億1千1百万円（前連結会計年度比1.0%増）、売上高は643億8百万円（前連結会計年度比16.7%減）、営業利益は11億5千7百万円（前連結会計年度比69.1%減）となりました。

工作機械事業 [工作機械（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など）、精密加工機など]

工作機械におきましては、国内外で産業機械向けおよび建設機械向けの販売と受注が減少いたしました。なお、年度後半では国内、北米、中国などで設備投資に回復が見られました。

精密加工機におきましては、販売は光学系金型向けで国内が増加したものの、中国、台湾が減少いたしました。受注は国内外で光学系金型向けが減少いたしました。

この結果、工作機械事業全体の受注高は174億3千7百万円（前連結会計年度比23.6%減）、売上高は208億6千6百万円（前連結会計年度比29.7%減）、営業損失8億2千8百万円（前連結会計年度は営業利益3億円）となりました。

制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

制御機械事業におきましては、中国の電子デバイス・スマートフォン等の組立自動化設備向けは堅調に推移いたしましたが、国内の設備投資先送りなどを受けて、販売と受注が減少いたしました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は61億5千万円（前連結会計年度比5.0%減）、売上高は58億3千8百万円（前連結会計年度比15.8%減）、営業損失は3千9百万円（前連結会計年度は営業損失3千9百万円）となりました。

その他の事業

その他の事業全体の受注高は13億1千9百万円（前連結会計年度比27.1%減）、売上高は16億2千万円（前連結会計年度比44.9%減）、営業利益は3千5百万円（前連結会計年度は営業損失5億2千8百万円）となりました。

③次期の見通し

今後の経済環境は、米国・中国経済の回復や国内における経済活動の再開により景気は回復基調となるものの、地政学的リスクや国内外における新型コロナウイルス感染症拡大の影響、世界的な半導体不足をはじめとしたサプライチェーンの混乱など、依然先行き不透明な状況が続くものと考えられます。

このような状況のもと、世界市場の需要動向を見極めたうえで、脱炭素化社会の実現へ向けた自動車のEV化や風力発電などの再生可能エネルギー関連へ対応した商品の提供と開発、海外工場での調達と生産の規模拡大によるグローバル供給体制の強化、商品力・生産性の向上を目指したDX戦略の推進など、各施策を加速してまいります。また、中期経営計画「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組んでまいります。

2022年3月期の見通しにつきましては、売上高1,060億円、営業利益27億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円を予想しております。

なお、通期見通しにあたっての為替レートは、1米ドル=103円を前提としております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ199億8千7百万円減少し、1,342億9千6百万円となりました。減少の主な内訳は、現金及び預金が54億9千万円、商品及び製品が23億1千6百万円、仕掛品が45億5千万円、受取手形及び売掛金が83億8千2百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ151億2千万円減少し、521億4千4百万円となりました。減少の主な内訳は、支払手形及び買掛金が36億6千6百万円、未払法人税等が71億4千4百万円、未払費用が30億1千万円、前受金が10億5千8百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ48億6千6百万円減少し、821億5千2百万円となりました。減少の主な内訳は、その他有価証券評価差額金が14億1千5百万円、為替換算調整勘定が8億9千4百万円、退職給付に係る調整累計額が6億3千2百万円増加したものの、利益剰余金が78億3千7百万円減少したこと等によります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は61.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ、55億9千3百万円減少し、424億1千7百万円となりました。

なお、当連結会計年度における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1億9千2百万円の増加になりました。これは主として、法人税等の支払額78億5千7百万円等があったものの、売上債権の減少による収入83億8千2百万円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、15億3千7百万円の減少になりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出15億4千5百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、49億5千6百万円の減少になりました。これは主として、配当金の支払額49億3千1百万円等があったことによります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	55.7	54.7	55.2	56.4	61.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	39.4	60.7	35.7	33.6	50.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.5	2.1	—	2.7	74.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	79.1	66.7	—	66.0	2.2

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

5. 2019年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」および「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

6. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を2019年3月期の期首から適用しており、「自己資本比率」および「時価ベースの自己資本比率」については、当該会計基準等を遡って適用した後の比率となっております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

当期につきましては、2020年6月30日を基準日として1株当たり124円30銭の特別配当を実施いたしました。第2四半期末配当は1株当たり37円50銭を実施いたしました。期末配当は1株当たり37円50銭とさせていただきます。この結果、年間で1株当たり199円30銭とさせていただきます。

次期の配当につきましては、年間で1株当たり75円（第2四半期末・期末とも37円50銭）を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「わたしたちは、世界中でお客様の価値最大化に貢献していきます。」という企業理念のもと、実際に事業活動を展開していくにあたって、法令を遵守し社会規範・企業倫理に従って行動するという観点から、具体的「行動基準」を定め、当社グループ共通の尺度として周知徹底を図っております。

また、地球環境保全、社会貢献、人権尊重等について企業としての社会的責任を果たすとともに、CS（顧客満足）を基盤として企業価値の最大化を図り、株主、顧客、取引先、従業員、地域社会等の全てのステークホルダーの期待に応えていきます。

(2) 中長期的な会社の経営戦略、目標とする経営指標及び対処すべき課題

当社グループは、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組んでおります。

①目標とする経営指標

当社グループは、「経営改革プラン」最終年度である2024年3月期の目標値として下記の項目を設定しております。



②「経営改革プラン」の進捗

高収益体質への変革に向けた組織再編については、これまで以上に全体最適を進めるため「事業部制」を廃止し、「カンパニー制」を採用いたしました。全社における研究開発の推進と調達を含めた生産活動の円滑化のため、「R&Dセンター」および「生産センター」を創設いたしました。併せて、最適資源配分と固定費削減に向けた希望退職と配置転換を実施いたしました。

2021年4月1日より、本社機能の一部を東京へ移転し、東京本社を設置いたしました。また、多様な人材の処遇、キャリア形成、専門職人材の活躍が可能な新人事制度を一部導入いたしました。

国内外の生産拠点再編に伴う相模工場の一部敷地の有効活用に向け、物流施設の事業化に向けた検討を開始いたしました。

③対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症拡大、米中貿易摩擦、地政学上のリスク継続などにより、当社グループを取り巻く経営環境は不透明感、不確実性が増しております。当社グループは、このような経営環境に対応し、さらに次の時代へ向かっていく新たな企業に生まれ変わるために、「経営改革プラン」を引き続き遂行してまいります。

生産戦略につきましては、国内外製造拠点の再編を進めていきます。また、DX戦略を推進し、高品質なものづくりを実現していきます。

事業戦略につきましては、今後製造業が直面する「メガトレンド」に卓越した技術力で応え、社会的課題の解決と企業価値向上の両立を目指すため策定した「長期ビジョン 2030」をもとに、エネルギー関連と生産性の向上を軸として事業ポートフォリオを設定することで、目指すポートフォリオに向けた技術開発を推進し、常に顧客に寄り添いニーズに合った商品を創出、提供し続けていきます。また、M&A/アライアンスなどを活用し、当社グループの企業価値向上に向けた投資を推進していきます。

また、ISO9001、14001をベースとした品質・環境管理を徹底し、当社グループの将来を担う人材の育成、法令遵守および社会貢献などESG活動にも積極的に取り組んでまいります。

(3) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来における国際会計基準の適用に備え、社内のマニュアルや指針等の検討を進めております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,907	42,417
受取手形及び売掛金	36,064	27,682
有価証券	104	—
商品及び製品	9,052	6,736
仕掛品	26,877	22,327
原材料及び貯蔵品	67	64
その他	2,340	3,560
貸倒引当金	△49	△37
流動資産合計	122,364	102,752
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,014	39,252
減価償却累計額	△28,429	△29,348
建物及び構築物（純額）	10,584	9,903
機械装置及び運搬具	24,224	24,421
減価償却累計額	△22,073	△21,703
機械装置及び運搬具（純額）	2,151	2,718
土地	7,049	7,098
リース資産	240	264
減価償却累計額	△150	△153
リース資産（純額）	89	111
建設仮勘定	135	474
その他	7,327	7,238
減価償却累計額	△6,797	△6,786
その他（純額）	529	452
有形固定資産合計	20,541	20,758
無形固定資産		
その他	561	571
無形固定資産合計	561	571
投資その他の資産		
投資有価証券	6,560	8,341
長期貸付金	13	6
繰延税金資産	3,142	409
その他	2,149	2,765
貸倒引当金	△1,048	△1,310
投資その他の資産合計	10,816	10,213
固定資産合計	31,918	31,543
資産合計	154,283	134,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,279	17,613
短期借入金	10,090	10,590
未払法人税等	7,218	74
未払費用	5,351	2,341
賞与引当金	—	1,096
製品保証引当金	720	591
前受金	6,403	5,345
その他	1,941	1,316
流動負債合計	53,006	38,969
固定負債		
長期借入金	4,300	3,800
長期末払金	5	5
繰延税金負債	2	570
役員退職慰労引当金	41	58
退職給付に係る負債	9,770	8,518
資産除去債務	52	105
その他	85	115
固定負債合計	14,258	13,174
負債合計	67,264	52,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,484	12,484
資本剰余金	11,538	11,538
利益剰余金	77,359	69,522
自己株式	△16,376	△16,346
株主資本合計	85,006	77,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,334	3,749
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	843	1,737
退職給付に係る調整累計額	△1,165	△533
その他の包括利益累計額合計	2,012	4,953
純資産合計	87,018	82,152
負債純資産合計	154,283	134,296

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	116,761	92,635
売上原価	83,301	67,730
売上総利益	33,459	24,904
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,486	1,223
荷造運搬費	3,595	2,842
製品保証引当金繰入額	625	491
従業員給料及び手当	11,914	11,195
退職給付費用	652	684
減価償却費	746	738
賃借料	804	911
旅費及び交通費	1,238	561
研究開発費	1,682	1,404
外注費	588	468
その他	6,596	4,000
販売費及び一般管理費合計	29,930	24,522
営業利益	3,529	381
営業外収益		
受取利息	43	59
受取配当金	512	212
受取賃貸料	50	45
持分法による投資利益	728	—
雇用調整助成金	—	677
補助金収入	—	220
為替差益	76	348
その他	271	282
営業外収益合計	1,683	1,847
営業外費用		
支払利息	81	84
商標使用料	124	0
業務委託費用	862	655
その他	318	615
営業外費用合計	1,387	1,356
経常利益	3,825	872
特別利益		
固定資産売却益	6	13
投資有価証券売却益	26	132
関係会社株式売却益	10,135	—
特別利益合計	10,168	145
特別損失		
固定資産処分損	103	78
関係会社株式評価損	—	35
投資有価証券評価損	311	—
減損損失	19	371
特別退職金	911	264
特別損失合計	1,345	750
税金等調整前当期純利益	12,648	267
法人税、住民税及び事業税	7,621	403
法人税等調整額	△2,312	2,762
法人税等合計	5,309	3,165
当期純利益又は当期純損失(△)	7,338	△2,898
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	7,338	△2,898

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	7,338	△2,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△536	1,415
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△867	893
退職給付に係る調整額	△228	632
持分法適用会社に対する持分相当額	77	—
その他の包括利益合計	△1,554	2,941
包括利益	5,784	43
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,784	43
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,484	11,538	71,983	△16,375	79,630
当期変動額					
剰余金の配当			△1,930		△1,930
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主 に帰属する当期純損失 (△)			7,338		7,338
自己株式の取得				△1	△1
企業結合による減少			△31		△31
譲渡制限付株式報酬					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	5,376	△1	5,375
当期末残高	12,484	11,538	77,359	△16,376	85,006

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	2,844	0	1,711	△988	3,566	83,197
当期変動額						
剰余金の配当						△1,930
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主 に帰属する当期純損失 (△)						7,338
自己株式の取得						△1
企業結合による減少						△31
譲渡制限付株式報酬						
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△510	0	△867	△176	△1,554	△1,554
当期変動額合計	△510	0	△867	△176	△1,554	3,820
当期末残高	2,334	0	843	△1,165	2,012	87,018

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	12,484	11,538	77,359	△16,376	85,006
当期変動額					
剰余金の配当			△4,931		△4,931
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主 に帰属する当期純損失 (△)			△2,898		△2,898
自己株式の取得				△0	△0
企業結合による減少					
譲渡制限付株式報酬			△7	30	22
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△7,837	29	△7,807
当期末残高	12,484	11,538	69,522	△16,346	77,198

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	2,334	0	843	△1,165	2,012	87,018
当期変動額						
剰余金の配当						△4,931
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主 に帰属する当期純損失 (△)						△2,898
自己株式の取得						△0
企業結合による減少						
譲渡制限付株式報酬						22
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,415	△0	893	632	2,941	2,941
当期変動額合計	1,415	△0	893	632	2,941	△4,866
当期末残高	3,749	—	1,737	△533	4,953	82,152

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	12,648	267
減価償却費	1,781	1,755
減損損失	19	371
特別退職金	911	264
貸倒引当金の増減額(△は減少)	662	249
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	1,096
製品保証引当金の増減額(△は減少)	115	△128
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66	△618
受取利息及び受取配当金	△556	△271
支払利息	81	81
投資有価証券売却損益(△は益)	△26	△132
関係会社株式売却損益(△は益)	△10,135	—
投資有価証券評価損益(△は益)	311	—
関係会社株式評価損	—	35
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	96	64
持分法による投資損益(△は益)	△728	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,341	8,382
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,023	6,868
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,973	△3,616
前受金の増減額(△は減少)	△1,438	△1,058
未払費用の増減額(△は減少)	495	△3,003
預り金の増減額(△は減少)	△279	△49
未払金の増減額(△は減少)	△301	△38
その他	1,577	△1,498
小計	5,702	9,039
利息及び配当金の受取額	827	271
利息の支払額	△80	△88
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,137	△7,857
特別退職金の支払額	—	△1,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,312	192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,424	△1,545
有形固定資産の売却による収入	13	16
無形固定資産の取得による支出	△92	△219
投資有価証券の売却による収入	208	320
関係会社株式の取得による支出	△98	—
関係会社株式の売却による収入	21,525	—
関係会社出資金の払込による支出	△379	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△3	△16
長期貸付金の回収による収入	3	6
その他	20	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,772	△1,537

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△1,930	△4,931
その他	△33	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,964	△4,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△701	708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	22,419	△5,593
現金及び現金同等物の期首残高	25,592	48,011
現金及び現金同等物の期末残高	48,011	42,417

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、製品・サービスの経済的特徴、内容、製造方法等の類似性に基づき、「成形機事業」「工作機械事業」「制御機械事業」の3つを報告セグメントとしております。

「成形機事業」は、射出成形機、押出成形機及びダイカストマシン等を製造・販売しております。「工作機械事業」は工作機械等を製造・販売しております。「制御機械事業」は制御機械等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度の期首に、経営効率及び収益性向上を図るため、カンパニー制の採用を伴う組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴って、産業用ロボット及び電子制御装置事業を従来の「その他」セグメントから「制御機械」セグメントに変更しています。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	77,206	29,684	6,930	113,821	2,939	116,761	—	116,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13	2,237	2,250	678	2,928	(2,928)	—
計	77,206	29,697	9,168	116,072	3,617	119,689	(2,928)	116,761
セグメント利益 又は損失(△)	3,747	300	△39	4,007	△528	3,478	50	3,529
セグメント資産	71,929	34,787	10,678	117,395	5,882	123,277	31,005	154,283
その他の項目								
減価償却費	1,021	560	144	1,726	54	1,781	—	1,781
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,111	194	100	1,405	335	1,741	—	1,741

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	連結財務諸 表計上額
	成形機	工作機械	制御機械	計				
売上高								
外部顧客への売上高	64,308	20,866	5,838	91,014	1,620	92,635	—	92,635
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19	1,555	1,575	405	1,980	(1,980)	—
計	64,308	20,886	7,394	92,589	2,026	94,615	(1,980)	92,635
セグメント利益 又は損失(△)	1,157	△828	△39	289	35	325	56	381
セグメント資産	67,308	29,191	9,254	105,754	4,762	110,516	23,779	134,296
その他の項目								
減価償却費	1,045	479	186	1,711	44	1,755	—	1,755
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	510	181	242	935	863	1,799	—	1,799

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料加工、環境測定等の事業を含んでおります。

5. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	116,072	92,589
「その他」の区分の売上高	3,617	2,026
セグメント間取引消去	△2,928	△1,980
連結財務諸表の売上高	116,761	92,635

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,007	289
「その他」の区分の利益	△528	35
セグメント間取引消去	50	56
連結財務諸表の営業利益	3,529	381

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	117,395	105,754
「その他」の区分の資産	5,882	4,762
全社資産(注)	31,488	24,126
セグメント間債権債務消去	△482	△347
連結財務諸表の資産合計	154,283	134,296

(注) 全社資産は主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び有価証券)等であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	中国	その他アジア	その他の地域	合計
55,393	11,216	22,603	22,439	5,107	116,761

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	合計
17,627	198	2,715	20,541

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客へ売上高がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	米国	中国	その他アジア	その他の地域	合計
40,850	12,042	21,976	14,093	3,671	92,635

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	アジア	合計
18,214	175	2,369	20,758

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客へ売上高がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	成形機	工作機械	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	19	19

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	成形機	工作機械	その他	全社・消去	合計
減損損失	371	—	—	—	371

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	3,605円47銭	3,402円36銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	304円06銭	△120円05銭

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	87,018	82,152
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	87,018	82,152
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	24,135	24,145

4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社に帰属する当期純損失(△) (百万円)	7,338	△2,898
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属す る当期純損失(△)(百万円)	7,338	△2,898
期中平均株式数(千株)	24,135	24,141

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結包括利益計算書、連結株主資本等変動計算書、連結キャッシュ・フロー計算書、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、税効果会計、関連当事者情報に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略しております。

なお、当該注記事項に関しては、2021年6月21日提出予定の有価証券報告書に記載いたしますので、『金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム』(EDINET)でご覧いただくことができます。

5. その他

(1) セグメント別受注高・売上高・受注残高

①受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	63,104	63,711	607	1.0%
工作機械	22,832	17,437	△5,395	△23.6%
制御機械	6,476	6,150	△326	△5.0%
報告セグメント計	92,413	87,299	△5,114	△5.5%
その他	1,811	1,319	△492	△27.1%
合計	94,224	88,619	△5,605	△5.9%

②売上高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	77,206	64,308	△12,898	△16.7%
工作機械	29,684	20,866	△8,818	△29.7%
制御機械	6,930	5,838	△1,092	△15.8%
報告セグメント計	113,821	91,014	△22,807	△20.0%
その他	2,939	1,620	△1,319	△44.9%
合計	116,761	92,635	△24,126	△20.7%

③受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
成形機	49,156	48,559	△597	△1.2%
工作機械	17,376	13,947	△3,429	△19.7%
制御機械	2,613	2,925	312	11.9%
報告セグメント計	69,147	65,433	△3,714	△5.4%
その他	613	311	△302	△49.1%
合計	69,760	65,744	△4,016	△5.8%

- (注) 1. 上記金額に消費税等は、含まれておりません。
2. セグメント間取引については、相殺消去しております。